

測量

THE JOURNAL OF
SURVEY

地理空間情報の科学と技術

2016

9月

姫路城



時代のニーズは変わっても、測量の基本は「測る」

株式会社新日は、昭和44年に名古屋市において測量で創業して以来48年目となり、地元名古屋を中心に東海地方から全国にかけて活動しています。近年は、東日本大震災復興関係で釜石市の復興と新しいまちづくりにも関わっています。

社名の由来は、「苟日新 日々新 又日新」という中国古典『大学』の有名な一節で、「マコトニヒニアラタニ、ヒビニアラタニ、マタヒニアラタナリ」と読み「日に日に向上進歩する」ということを意味しています。正に、日々業績拡大を続けている会社です。

今回、品質管理優秀賞を受賞された会社の取り組みについて、秋山学代表取締役社長と宮路隆志調査測量部長に話を伺いました。

「社員86名のうち測量技術者は21名であり、30歳代の技術者が少ないという現状には危惧しているが、最近では若手技術者も増えつつあり、女性技術者の配置も含めて、職場の変革に期待している。

昔の測量は技術さえあれば黙っていてもできたが、今は対人が大切になっている。値を正確に求めるだけでな

く、その値を後続の事業に活用するために、分かりやすく、まとめ方を工夫する、等が重要になってきている。でも、測量の基本は「測る」に変わりはない。そのためにも計測技術の継承が重要であり、特に現場で経験して覚える、が何よりの教育です」と熱く語っていただきました。

入社式の会長挨拶の中で「先輩から新人に対して“温かい指導と厳しい指導を”」とありました。この姿勢が品質確保にも通ずるように思います。

(取材：中部支部技術センター 川原敏雄)



社屋全景



秋山代表取締役社長とともに